

「これでいいのか小中一貫教育、許すな学校統廃合」大阪交流集会

講演「『少子化＝学校統廃合』は正しいのか？

少子化時代における学校と地域のあり方を考える」

講師： 中山 徹さん(奈良女子大学)



◆地域・高校からの報告

①「大阪府立高校統廃合の現状と公教育の価値について」

(大阪府立高等学校教職員組合)

②「『子育てするなら岸和田で』を再び実現するためにⅡ～岸和田市の幼保再編計画と小中適正化計画に関わっての取り組み」

(岸和田・小中学校を考える会天神山)

③「豊中市における新たな学校統廃合・再編計画～南部2校+3校義務教育学校・学園制」(全教豊中教職員組合)



日時：6月18日(日)午後1時30分～

会場：大阪府教育会館(たかつガーデン)3F「カトレア」

アクセス：地下鉄谷町線「谷町九丁目」下車、東へ徒歩8分
近鉄「上本町」駅下車、北へ5分

資料代 500円(教文センターサポーターは無料です)どなたでも参加できます

お問合せ 「学校統廃合・小中一貫教育」研究会 06-6768-5773(大阪教育文化センター)へ

2016年の法制化から6年、全国各地で小中一貫校(義務教育学校)が建設され、地域の小・中学校が統廃合されています。当初、導入の理由とされた「中1ギャップ」論は破綻し、公共施設削減の中心的ターゲットとして進められているのが特徴です。しかし、小中一貫校では、不登校の増加や、型にはめた学校運営の押し付け、6年生の発達の課題の顕在化、小中一貫教育と矛盾する中学受験による中抜け、などの課題が表面化しています。“少子化だから学校統廃合しかない”という推進派の言説を検証しましょう。また、府立高校や府下各地の取り組みに学び、新しい時代の学校と地域のあり方を考えます。